※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「探求　論理国語」（桐原書店） 「探求　文学国語」（桐原書店） 「意味から習得―音訓別―重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「高校生のための現代思想エッセンスちくま評論選　三訂版」（筑摩書房） 「現代文キーワード読解」（Ｚ会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文の力（語彙力、読解力、思考力、表現力、記述力）を発揮するためには、あらゆる知識を総動員する必要があります。社会の多様な事柄に積極的に関心をもち、自分のこととして考える習慣を持ちましょう。
・記述力を培うには、粘り強さが必要です。「優れた文章の美点を分析する」「自分自身で何度も書き、自己添削する／添削してもらう」経験を繰り返す努力によって、記述力が身に付きます。
・相当な時間と、精神的エネルギーを注入して初めて、「現代文」で扱う内容を捉える力が養われます。授業にも自主学習にも、真摯に取り組んでください。その積み重ねが、みなさんの視野をいっそう開き、確かな現代文の力を培ってくれます。みなさんの積極的な姿勢に期待しています。

２　学習の到達目標

・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価できる。
・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。
・批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。
・収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。
・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまりをはじめとした、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	評論文や実用文を理解するⅠ ［教材］ 近現代評論文	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 b[読]：評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	小説・詩歌・随想を理解するⅠ ［教材］ 近現代小説	a：文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 b[読]：多様な他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について十分に考察を深めている。 c：本文の内容を踏まえて、人物像の変化について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	評論文や実用文を理解するⅡ ［教材］ 近現代評論文	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを十分に理解し、その知識を活用している。 b[書]：書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集し、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決め、問いたいことや言いたいことを明確に伝えている。 c：本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	小説・詩歌・随想を理解するⅡ ［教材］ 近現代詩歌	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。 c：教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした批評文を書こうとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
後期	評論文や実用文を理解するⅢ ［教材］ 近現代評論文	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判　的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 c：本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

	小説・詩歌・随想を理解するⅢ ［教材］ 近現代随想	a:文章の種類や特徴などについて十分に理解を深めている。 b[書]:文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを十分に吟味して、文章全体を整え、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、文章作成に生かしている。 c:学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした随想を創作しようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	評論文や実用文を理解するⅣ ［教材］ 近現代評論文	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b[読]:主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判　的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 c:本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題
	小説・詩歌・随想を理解するⅣ ［教材］ 近現代小説	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。 c:本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	ノート 定期考査 パフォーマンス課題	授業態度 パフォーマンス課題

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間